

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 6 日 (2017.7.6)

【公開番号】特開 2015-133618 (P2015-133618A)
 【公開日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-046
 【出願番号】特願 2014-4181 (P2014-4181)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 1 1

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

T D D を利用して通信を行うユーザ端末であって、

下り時間区間 (D w P T S)、ガード期間 (G P) 及び上り時間区間 (U p P T S) で構成される特別サブフレームが所定サブフレームに設定される U L / D L 構成を利用して信号の送受信を行う送受信部と、

複数の特別サブフレーム構成が定義されたテーブルに基づいて前記特別サブフレームにおける信号の送受信を制御する制御部と、を有し、

前記複数の特別サブフレーム構成の少なくとも一つは、U p P T S が 3 シンボル以上で構成されることを特徴とするユーザ端末。

【請求項 2】

前記制御部は、上位レイヤシグナリングで通知される情報に基づいて、前記特別サブフレーム構成の U p P T S 長を設定することを特徴とする請求項 1 に記載のユーザ端末。

【請求項 3】

前記制御部は、前記特別サブフレーム構成の D w P T S 長は変更せずに U p P T S 長を変更することを特徴とする請求項 2 に記載のユーザ端末。

【請求項 4】

前記制御部は、L T E システム R e l . 1 0 で定義されている既存の特別サブフレーム構成と、U p P T S が 3 シンボル以上に設定された特別サブフレーム構成とが規定されたテーブルから所定の特別サブフレーム構成を選択することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のユーザ端末。

【請求項 5】

前記制御部は、前記特別サブフレーム構成の変更が通知された場合に、L T E システム R e l . 1 0 で定義されている既存の特別サブフレーム構成の U p P T S 長を拡張し、且つ前記 U p P T S の拡張シンボル数だけガード期間のシンボル数を減らすことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のユーザ端末。

【請求項 6】

前記制御部は、前記特別サブフレーム構成の変更を指示する情報を受信した場合に、当該既存の特別サブフレーム構成のUpPTS長を拡張し、前記特別サブフレーム構成の変更を指示する情報を受信しない場合に、LTEシステムRel. 10で定義されている既存の特別サブフレーム構成を利用することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のユーザ端末。

【請求項7】

前記送受信部は、前記UpPTSを用いて、PUSCHを送信することを特徴とする請求項1に記載のユーザ端末。

【請求項8】

少なくともTDDを利用するユーザ端末と通信を行う無線基地局であって、

下り時間区間(DwPTS)、ガード期間(GP)及び上り時間区間(UpPTS)で構成される特別サブフレームが所定サブフレームに設定されるUL/DL構成を利用して前記ユーザ端末と信号の送受信を行う送受信部と、

複数の特別サブフレーム構成から所定の特別サブフレームを前記ユーザ端末に設定する制御部と、を有し、

前記複数の特別サブフレーム構成の少なくとも一つは、UpPTSが3シンボル以上で構成されることを特徴とする無線基地局。

【請求項9】

TDDを利用して通信を行うユーザ端末の無線通信方法であって、

所定サブフレームにおいて、下り時間区間(DwPTS)、ガード期間(GP)及び上り時間区間(UpPTS)で構成される特別サブフレームが所定サブフレームに設定されるUL/DL構成を利用して信号の送受信を行う工程と、

複数の特別サブフレーム構成が定義されたテーブルに基づいて前記特別サブフレームにおける信号の送受信を制御する工程と、を有し、

前記複数の特別サブフレーム構成の少なくとも一つは、UpPTSが3シンボル以上で構成されることを特徴とする無線通信方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明のユーザ端末は、TDDを利用して通信を行うユーザ端末であって、下り時間区間(DwPTS)、ガード期間(GP)及び上り時間区間(UpPTS)で構成される特別サブフレームが所定サブフレームに設定されるUL/DL構成を利用して信号の送受信を行う送受信部と、複数の特別サブフレーム構成が定義されたテーブルに基づいて前記特別サブフレームにおける信号の送受信を制御する制御部と、を有し、前記複数の特別サブフレーム構成の少なくとも一つは、UpPTSが3シンボル以上で構成されることを特徴とする。